

# JICA 英国事務所

## 英国援助情報ヘッドライン

---

15 July 2005

Vol. 3

今回のメインピック:

- ・ G8サミット及び蔵相会合関連記事
- ・ 調査報告書: GDPが1%上昇すると貧困が1.7%減少 (p.4)
- ・ D f I D年次報告書 (p.6)



From: 英国事務所長

## < 演説等 >

### ・ フィナンシャルタイムズ記者によるブレア首相へのウェブインタビュー(6月30日)

Q: G8サミットの目標は高すぎないのか。

A: 疾病はアフリカの貧困に密接に関係し、市場開放と気候変動についても対応が必要。これらは密接に絡んでいる

Q: お金が無駄に使われているという批判にどう答えるか。

A: 統治が悪くても援助が人々に届けば救われる。アフリカの国の中には民主化している国もある。ムガベ政権を見てこれがアフリカだと決めつけてはいけない。

Q: 気候変動とアフリカ開発の関係は何か。

A: 洪水は数百万人のアフリカ人に影響する。援助によってアフリカは発展の機会を得ることができるが、環境に負荷を与えてはならない。それが持続的開発だ。

### ・ ベン開発大臣のロンドン大学での講演(6月29日)

援助と債務削減だけではなく、公正な取引によって貧しい国は成長の機会を得られると強調し、欧州は開発だけでなく貿易でもリードすべきと表明。貧困者や貧困国のための貿易とは保護主義や補助金の撤廃、貿易のキャパシティーの構築、貿易や成長を促す政府の条件作りであり、アフリカ委員会も先進国の貿易障壁は絶対に受け入れがたいと述べている。ドーハラウンドに関しては農業の公平化、貿易障壁の緩和、貿易自由化の自由な選択が重要。それ以外には詐欺の防止のための原産地の明確化、世界市場で競争するためのインフラ、投資、安全保障が必要。途上国の人たちは生産活動へ参加することが必要で、そのための政治的意思を期待すると説明した。

### ・ ストロー外相の王立外交問題研究所でのインドに関する講演(6月27日)

インドの経済成長率は今後20年間に渡って年6%と予想。しかも安価な産業だけではなく、高度な技術を提供している。例えば英国の公的医療分野ではインドへ診断データを送り、テレメディシンによる診断をインドから得ている。今後の英国・インド関係においてはビジネスとしてのパートナー、貿易や金融での対話、G8関連でのエネルギー保障、気候変動、開発と安全保障を重視する。

### ・ ストロー外相の国連60周年に関する外務省での講演(6月27日)

国連改革の視点として開発、安全保障、人権の3つをあげ、英国の支持を表明。安保理のメンバー国として新たに日本、ドイツ、インド、ブラジル、アフリカ代表を加えることを支持。他方で、安保理改革以外にも重要な課題があることを示唆し、例えば紛争や自然災害時に効率性や人権保護を重視すべきとしている。国連憲章は「国連に加盟している人々(We the peoples of the UN)」と謂っており、「加盟国」や「加盟国政府」が主語ではないと強調。

### ・ ピアソン貿易次官によるEU・アフリカ貿易に関する講演(6月27日)

ドーハ開発アジェンダの成功に向けて輸出補助金の撤廃、農業補助金への対応、途上国の製品の市場アクセスの改善を掲げ、開発アジェンダ以外のEUの優先課題としてはアフリカ、カリブ海、太平洋諸国との経済協定をあげている。貿易に関してはアフリカの貿易能力の向上、ルールや規定の変

更、厳格すぎる品質規定への対応が必要と述べた。

・ **MDGに対する英国の進捗状況について(ベン外相が英国国教会にて講演)(6月22日)**

英国は国際社会へより多くの良質な援助、債務削減、公正な取引を呼びかけており、教会などの信仰団体の活動は特に地方部の保健医療や教育に寄与していると評価した。さらに奴隷廃止において宗教が果たした役割を示し、貧困削減でも同様の成果が得られると確信していると述べた。

・ **トリスマン外務政務次官がタンザニア議会にて講演(6月15日)**

タンザニアPRSの進捗を評価し、学校就学率は達成間近であることを歓迎した。ザンジバルに関しては次期選挙が公正に行われ、地域の安定につながることを期待している。貿易に関しては援助よりもインパクトが大きいことを認め、司法制度の整備と汚職追放が投資に重要であると述べた。その一方で、契約にかかる予測不可能な事態や対応に長時間を要すること、合法的に取得した資産の国家による没収などを揚げ、投資環境整備を呼びかけた。さらに、公共財政管理、司法、公共サービスの改革が必要と述べた。

・ **ジンバブエに関するストロー外相の談話(6月14日)**

ムガベ政権は最も弱い立場である都市貧困民やインフォーマル商業者を攻撃していると批判し、国民の民主化、人権が奪われ、食糧危機に陥っていると述べた。EUは人権侵害に強く反対し、DFIDは40万ドルの人道援助を実施。EUはムガベ大統領を含め、120人のジンバブエ人に対して移動の制限と財産の凍結を行っている。

・ **G8蔵相会議の結論(6月11日)**

G8蔵相は以下の点について確認した。

- ・ 特にオフトラックになっているアフリカの国に対するMDG達成のための支援
- ・ 途上国は経済成長、持続的開発、貧困削減についての政策を示すこと
- ・ 援助国は援助の効率性を上げること
- ・ ドーハ開発ラウンドを成功させること
- ・ 途上国に貿易の機会を与えること
- ・ ワクチン及び医療研究への支援
- ・ 拡大HIPCイニシアティブの完全実施
- ・ 援助の増額
- ・ ナイジェリアの経済改革を評価し、パリクラブにてナイジェリアの債務問題に公正かつ持続的に対応する
- ・ 次の18カ国に完全な債務削減を行う: ベニン、ボリビア、ブルキナファソ、エチオピア、ガーナ、ガイアナ、ホンジュラス、マダガスカル、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ニカラグア、ニジェール、ルワンダ、セネガル、タンザニア、ウガンダ、ザンビア。

・ **ピアソン貿易次官によるアフリカ委員会東京イベントでの講演(6月6日)**

G8サミットのアジェンダにアフリカを入れた理由として貧困と不平等をあげ、それが紛争と疾病を発生させており、平和構築と人間の安全保障にはその解決が欠かせないと述べた。EUが2010年までに援助額をGNIの0.56%に増加させ、米国援助が2000年から2004年の間に50%増加、カナダが2010年までに援助を倍増させ、日本もアフリカへの援助を倍増させることを朗報としたが、その一方で、貿易障壁、債務削減、資金の流れの迅速化が必要と述べた。今後の優先分野としては教育、保健医療、インフラ、農業をあげている。経済成長についてはアジアの例を挙げ、民間セクターの開発が必要と述べた。日本に期待する役割はアジアの経験を正しく理解させ、普及させることとし、TICADを通じた長年の取り組みを評価。さらに近年の日英の開発面での関係強化についても触れ、ベトナム、バングラデッシュに続き、近々タンザニアで合同調査団を派遣することを評価した。

<プレスリリース>

- ・ **DfIDがバングラデッシュの135万所帯と企業への電力供給を支援。** 支援額は5000万ポンド(約100億円)。約1000万人に裨益。支援の内訳は設備投資に3800万ポンド、電力へのアクセスのためのマイクロファイナンスに1000万ポンド、USAIDを通じた技術支援に200万ポンド。維持管理コストと減価償却費はユーザーから徴収する。プロジェクトは2005年7月に開始。(6月30日)
- ・ **経済開発と貧困削減に関する報告書が完成。** DfID、世銀、フランス、ドイツの共同研究で、14カ国(バングラデッシュ、ボリビア、ブラジル、ブルキナファソ、エルサルバドル、ガーナ、インド、インドネシア、ルーマニア、セネガル、チュニジア、ウガンダ、ベトナム、ザンビア)の1990年代の指標のケーススタディーをもとに11カ国において経済開発によって貧困が減ったことを検証。GDPが1%上昇すると貧困が1.7%減少するとの相関を示した。特に多くの貧困層が従事している農業においては市場アクセス、輸送コストの低減、土地の所有権、小農に適した技術、リスク管理が重要な要素としてあげ、さらに農業から非農業への転換において投資環境の整備、中等教育、女子教育、雇用創出に向けた労働市場整備、インフラへのアクセスが重要としている。(6月29日)  
要約は <http://www.dfid.gov.uk/pubs/files/growth-poverty-summary.pdf> にて掲載。
- ・ **英国がAUのダルフルミッションへ1900万ポンド(約38億円)を追加拠出。** 車両や人員配備のための機材購入に充てられる。(6月13日)

<ニュース>

- ・ **DfIDが科学と技術革新のオンライン意見箱を設置。** 英国政府の10ヵ年計画としてDfIDが戦略作りを行うため。(6月28日)

- ・ **海洋資源アセスメントグループの報告書によると 40 億匹の魚が不法に捕獲されている。** DfID と Norad の共同研究にて作成された報告書では少しの投資で貧困国は不法な漁をやめ、資源を有効に利用できるとしている。

要約は <http://www.dfid.gov.uk/pubs/files/illegal-fishing-mrag-synthesis-report.pdf> にて掲載。

(6月21日)
- ・ **アフリカのためのインフラコンソーシアム会合。** 参加国・機関はG8、AU、NEPAD、アフリカ開発銀行、ECOWAS、EC、世銀で、10月のロンドン会議に向けて準備を開始。コンソーシアムの役目は効率化、アドボカシー、広域インフラ、データベース、キャパビル、各機関の比較優位性、追加資金の呼び込み、モニタリングで、対象のインフラ分野は上下水、エネルギー、運輸、情報通信、都市施設。(6月17日)
- ・ **18カ国に対する総額300億ポンドの債務削減。** G8蔵相会合の成果としてブラウン蔵相が発表。

(6月13日)
- ・ **DfID 年次報告書が完成。** 成果に関してパブリックサービスアグリーメントとの関連では以下のとおり記述されている。

  - ・ アフリカの主要 16 カ国へのMDG達成度:評価は時期尚早
  - ・ アジアの主要4カ国へのMDG達成度:評価は時期尚早
  - ・ 国際援助の効率性:評価は時期尚早
  - ・ 貿易障壁の軽減:未達成
  - ・ 低所得国への DfID の拠出割合を 78%から 90%へ増加:2004/05 年では 84%が低所得国向けとなっており、進捗は順調。
  - ・ 地域別評価 アフリカ:DfID の二国間援助の 48%。紛争による死者は 2000 年から 40%の減少。初等教育の就学率ではタンザニアで 90%、ウガンダで 86%を達成。ガーナがHIPC Completion Point達成。ケニアでは蚊帳の供与により4万人の子供の生命が救われた。
  - ・ 地域別評価 アジア:2003/04 から 2007/08 年までに援助額が 55%増加。アフガニスタンでは阿片を 2013 年に撲滅。バングラデッシュでは 1700 万人の児童に無料の初等教育を提供。パキスタンに事務所新設。中国の結核対策にて世銀と協調して 2009 年までに 50 万人以上を治療。カンボジアでコンドームの無料配布によるエイズ対策。
  - ・ 地域別評価 欧州・中東・北アフリカ・中南米:イラク復興に 2003 年より合計 2.64 億ポンド(約 528 億円)を支出。イラク南部の緊急インフラ整備にて 500 万人が電力や水の供給を受ける。パレスチナ向けの世銀基金へ 2004 年から合計で 1700 万ポンド(約 34 億円)拠出。EU加入に向けルーマニアとブルガリアで行政改革を実施、クロアチアは右到達点達成。カリブ海諸国でエイズ感染者の差別撤廃行動への賛同得られる。
  - ・ 多国籍機関と市民社会:世銀の貧困国向け政策枠組み作りに指導的に関与。多国籍機関の債務削減イニシアティブを発表。最貧困国の国際貿易について支援。2.2 億ポ

ド(約 440 億円)を市民社会へ拠出。インド洋津波災害に 7500 万ポンド(約 150 億円)を拠出。(6月7日)

要約は <http://www.dfid.gov.uk/news/files/2005/dr2005-launch.asp> に掲載。

以 上